

『輝け雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2024年11月
第99号

元気いっぱい体力づくり



一般社団法人 N-link.主催のたいいく & スポーツ教室のようす

- P 2 第3回定例会 主な議案
- P 3 補正予算めぐり激論
- P 4 町政を問う 8名(9件)が一般質問
- P 9 初の取り組み「議会カフェ」開催
- P 10 常任委員会の活動
- P 12 決算特別委員会



沼田町議会 検索

令和6年 第3回 定例会

9月18日

令和6年第3回定例会が開催され町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、8名の議員が9件の一般質問を行いました。

令和5年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算審査については決算特別委員会を設置して集中審査をすることとしました。

上程されたおもな議案

以下の議案について、全会一致で同意、承認しました。

■沼田町クラフトビール醸造所条例について

■沼田町地域密着多機能型総合センター条例の一部を改正する条例

・名称変更・指定管理について

■条例の一部を改正する条例

- ・沼田町がんばる高校生応援手当条例
- ・沼田町国民健康保険条例
- ・沼田町重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例

一般会計の補正予算

一般会計の予算総額に4億9500万円を追加し、予算の総額を61億3674万円とする補正予算を承認しました。主なものは以下のようになります。

■沼田町食の魅力発信拠点整備運営事業
委託料 997万円

■ふるさと納税関連費
納税額増に伴う経費 2億1090万円

■沼田厚生クリニック運営費
クリニックの運営損失補填 6132万円

■共成揚水機場電源喪失事故支援金
1014万円



故障した共成揚水機場の制御装置

特別会計の補正予算

下記の水道事業、下水道事業の補正予算を承認しました。

■水道事業会計
配水管の漏水箇所修繕 406万円

■下水道事業会計
浄化センター設備等修理ほか 229万円

専決処分

名誉町民、おかだしずお岡田静夫氏の御逝去に伴う町葬の執行と、それに係る補正予算を専決処分したことに
関する承認。

■町葬執行費 500万円

人事案件

下記の人事案件に同意しました。

■教育委員の任命 はやし さとみ 林 里美 氏（再任）

意見書

下記の意見書提出を求める陳情を採択しました。

■国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

賛否が分かれた 一般会計補正予算

■沼田町食の魅力発信拠点整備運営事業

997万7000円

北海道で最も集客力のあるスポットの1つである「エスコンフィールド北海道」へ訪れる方が多くが利用する北広島駅付近に、日本エスコン株式会社が開発する「トナリエ」内で、沼田町の商品を取り扱ったアンテナショップを通年開設する事業です。

「トナリエ」は北広島駅西口に直結する2025年春開業予定の商業施設であり、沼田町の特産品を活用した食事やクラフトビールなどを提供する飲食店の運営を通じ、沼田町のPRやふるさと納税の拡大に繋げる事業を民間企業に委託するものです。

討 論

・久保議員 反対討論

過去には、議員への説明の順番が混乱したまま可決した経験を何度か持っています。最近ではクラフトビール醸造場の建設など、本質的な議論が何度もスルーされたまま町民の大切な決定のルールが軽視されてしまった印象を持ちます。これまでの議論と町民との情報の共有が少なすぎであり、事業の立て方、説明、議案の上程の順番が違うと感じています。議会や町民に説明が不足する中、997万円の巨額を提案するのはあまりにも乱暴すぎると思いますので補正予算に反対します。

・伊藤議員 賛成討論

今回の事業は時間的に制約があることや町のPRにとってはまたとない機会と考えますので、補正予算に賛成します。

採決の結果

賛成	      
反対	 



トナリエのイメージイラスト

町長、教育長への

一

般 質 問



畑地 誉 議員

沼田町ならではのふるさと納税を

各サイトで一律ではないがお米の特長を表示している



横山 茂 町長

畑地

ふるさと納税で寄付された米を年間通して安定的に供給するには難しい課題があるが、寄付者の共感を得て、リピーターを確保することが財源の安定につながる。沼田町の米の特徴を強調し、環境に配慮したアピールをすることで、他の自治体と差別化を図って欲しい。米のパッケージにゼロカーボンや生物多様性への配慮を示す表示を行えないか。



町長

各ポータルサイトによってページの仕様が異なるので一律に同じ表記は難しいと思いますが、寄付の多くを占める代表的なサイトでは、特集ページを告知するなど差別化を図っているところです。環境に優しいエコなお米として世界初の保存技術PRをしております。現在16のポータルサイトに加え、今年度中に3つのポータルサイトを追加予定です。見える化の表示については、環境に対する貢献率について具体的な数値で示せる状況となっていませんが、情報過多にならないように差別化して行きたい。



鵜野 範之 議員

農業経営基盤強化促進法の改正による目標地図が必要

農地の目標地図は検討したい



横山 茂 町長

鵜野

農業経営基盤強化促進法の改正により地域計画と目標地図の作成が必要となる。沼田町は集積率が高いので地図の作成を行っていないが、将来の予想図となるものが必要ではないか。また、農地流動化対策として、支援制度の見直しや新たな制度設計が必要ではないか。

農地中間管理機構による農地売買制度が変更され、経営安定助成金が廃止されるが、町の農地流動化支援制度を見直す考えはないのか。



町長

人・農地プランを地域計画として作成し、農地利用の姿を明確化し集約化に取り組んでおり、町では集積率93.3%で現状地図を目標地図に置き換えることが出来るため、改めて検討させていただきます。農地流動化対策については現行制度を維持しつつ情勢を見極め対応して行きます。

農業委員会会長

今後の農地流動化については農地の利用集積も厳しくなると考えます。担い手の育成と確保による農業従事者の増加、法人化の推進、農作業の省力化と効率化などが必要と考えます。



長野 時敏 議員

免許返納対策とサポート体制の充実を

移動手段の確保を優先課題にします



横山 茂 町長

長野

交通安全の維持促進を奨励するために、10万円の奨励金を支給することで免許返納の決断を後押ししてどうか。

国のサポートカー補助金が廃止されたことから、町独自のサポートカー購入補助金の創設をしてはどうか。

医療機関への通院で自家用車での移動ができない方には通院タクシーの利用助成拡大をしてはどうか。



町長

令和3年度から5年度までの3年間で29名の方が高齢者交通安全対策助成事業を活用して運転免許を返納されています。免許返納の決断には家族の協力が最も重要であり、高額な奨励金ではなく、移動手段の確保を優先課題と考えており、外出支援サービス事業の活用も広めて行きたい。



篠原 暁 議員

マイナ保険証への不安解消を

広報等を通じて分かりやすい周知を行う



横山 茂 町長

篠原

町民に対して国民健康保険証と後期高齢者医療保険証について、12月2日以降に紛失をしたり、転居等で新規に発行がされなくなることを周知出来ているのか不安である。もっと丁寧な説明を行うべきではないか。

町長への篠原議員のその他の質問

問 地域防災に女性の視点を

答 女性の参画は必要と考えます



町長

国民健康保険と後期高齢者医療保険の保険証が12月2日以降に新規での発行はできなくなることは、役場庁舎や各コミュニティセンターで保険証の更新にお越しいただいた方に、丁寧に説明をしています。広報ぬまた8月号において同様の内容をお知らせしています。今後も認識を高めてもらうために、広報誌等で再度掲載をしながら周知していきます。





久保 元宏 議員

沼田力は現役世代の孤独死と孤立を防げるのか

町民や近隣住民の協力が必要と考える



横山 茂 町長

久保

沼田町では現役世代の孤独死や孤立死も増加している。孤独死の問題は役場の総合力＝沼田力が試される。

住民のさりげない見守り環境、一人暮らしの健康診断受診率の把握で、未就労者や引きこもりへの支援、安否確認システムの構築、民間事業者との連携強化をしてはどうか。

町長

見守り対策として郵便局や新聞配達店、宅配サービス事業、コープさっぽろとは見守り協定を締結しており、不審な状況にあった場合は町へ連絡いただくこととなっています。はあとふる沼田など高齢者向けの見守りネットワークはありますが、現役世代に向けた取り組みは特に

ありません。行政だけでは限界があり、町内会や近隣住民の協力が不可欠であると思います。

健康診断の情報活用ですが、国保加入者は把握できても社会保険の方について把握することは困難です。

高齢者の一人暮らしを対象にした、奈良医科大学との連携によるICTを活用した見守りシステムを導入している住宅もありますので、高齢者以外にも広めて行くことは出来ると思います。



三浦 実希 議員

PR広報の充実と各課情報共有で定期的な更新を

効果的な情報発信に努める



横山 茂 町長

三浦

町民の多くがネット環境から情報を得ているため、町もホームページやLINEなどのSNSを活用して情報提供を行っている。

しかし、情報の取りまとめや定期的な更新が進んでいない状況にある。

町内向けには正確なタイムリーな情報を、町外向けには観光施設の紹介や誘致、イベント告知、ふるさと納税や人材募集など各課の情報を発信する必要がある情報の共有強化をして欲しい。



町長

ホームページの管理運営は総務財政課広報情報グループが担当しており、専任職員はいません。ホームページの更新には担当課の意見を反映する必要がある、定期的な確認作業が不十分な状況です。

LINEでは一部の防災情報を発信していますが、全ての情報をSNSに配信しているわけではありません。各課の情報共有には、庁内グループウェアと庁内会議を利用しています。

今後も情報共有の強化と効果的な情報発信方法について検討を行い、ホームページの更新頻度を上げて行けるよう努力します。LINEでの町の行事情報発信についても調整し、実施するよう検討します。



上野 敏夫 議員

公共施設等総合管理計画策定のその後は

財源確保を優先し計画を進めたい



横山 茂 町長

上野

令和5年3月に改正された公共施設等総合管理計画の取り組みで、推進体制や財政担当部局との連携、町民との協働、職員の意識改革、地方公会計の活用などの方針が示されている。これらの取り組み状況と、特に町民への情報提供についてはどのように進めているのか。

修繕維持については、目的基金的なものを積み立てておくことによって早急に対応できることで維持管理費が安くなるのではないかと考えています。



町長

公共施設等総合管理計画は平成28年度に策定し、一定年度の年数が経過したので、現状に即して改定し、新たに増えた施設の追加、人口の推移、修繕に要した経費などを更新し、町のホームページで公表しています。

建築専門以外の職員、財政担当職員2名が、施設の維持管理や診断に関する研修に参加することで、施設の適正管理に努めることができず、施設カルテの様式の見直しも含めて検討を進めています。ふるさと創造懇談会において住民の皆様に対して現状をお知らせし、今後の方針については、適正管理に努め財源確保を優先したいと考えます。



大沼 恒雄 議員

冬期間の生活支援を

物価高騰も踏まえ検討したい



横山 茂 町長

大沼

高齢者が転出する理由の一つに除雪の困難さがある。町では高齢者向けの除雪支援策を実施しているが、さらなる支援が必要ではないか。冬期間の生活支援をということで暖房の補助金やエネルギー効率の改善補助金はあるが、除雪道具の購入補助金やコミュニティサポートは取り組んでいない。

町民の冬期間の生活支援策が必用ではないか。



町長

町では高齢者向けの除雪支援として、福祉除雪の補助金制度を設けていますが、今後の物価高騰を踏まえた見直しが必要と考えます。また、暖房費や省エネ改修への補助制度も実施されています。

コミュニティ的な考え方や地域通貨制度的な考え方で、除雪できる方々がスクラムを組んで、除雪ができなくなった方々をサポートする、あるいは雪山センターの収益から除雪費用を賄うとか、住民同士の支え合いなどの新たな取り組みを検討していきたい。

今回の傍聴者は3名です

みんなの議会は開かれた議会。ライブ配信実施で傍聴者が少ないのは納得。でも「さびしい」ですね。「傍聴は議場」が一番！

(80代男性)



**YouTube再生回数
330回でした**



沼田町議会の定例会はライブ配信で！

スマホやパソコンのYouTubeを使って見るができます。

生中継なので議会の開会中にぜひご覧ください。もちろん議場で傍聴していただくと一番臨場感がありますが、役場ふれあいの1階ロビーにあるテレビでも視聴することができます。

臨 時 会

7月24日に第3回臨時会が開催されました。

■専決処分の承認を求めることについて

一般会計の補正予算専決第1号

- ・雨竜川中央地区導水幹線破損事故

応急作業委託料 787万円

給水業務委託料 1064万円

復旧工事 1500万円

財源については国から55%、北海道より21%、1市4町で24%の負担割合となり沼田町からは一般財源より159万円を拠出の予算となっています。

■一般会計補正予算

- ・上水道事業会計への繰出金 1000万円

- ・活！ぬまたステップアップ事業

夜高あんどんVR撮影および機材 61万円

■水道事業会計補正予算

- ・配水管漏水修繕 1000万円



導水幹線の破損状況

シリーズ検証

第1弾

一般質問のその後を追う

議員が定例会ごとに行う一般質問は、その後どうなったのか。シリーズ第1弾は令和3年12月の定例会における伊藤議員の一般質問です。



問 持続可能な有害鳥獣駆除対策を

有害鳥獣駆除対策を行う地域おこし協力隊は地域の方とも信頼関係を築きながら精力的に活動しているが、任期満了後の状況は

答 これまで任期満了後に町職員や他の法人で活動していますが、今いる協力隊員の希望を定期的に聞き取り、よりよい体制を検討します。

★その後の対応（農業推進課）

令和3年度から有害鳥獣駆除員として活動していた地域おこし協力隊員1名を町職員として本年度に採用し、現在町職員2名が有害鳥獣駆除員として活動しており、有害鳥獣対策委員会、猟友会、地域農業者、更新地区の電牧柵管理組合、そして町が連携し農業被害軽減と町民の安全確保に取り組んでいます。一方、従事者の高齢化等体制の維持は本町だけの課題ではないことから、広域的な連携について検討を進めています。

議会改革調査特別委員会



議会カフェを開催しました！

町民とつながる議会を目指して、10月8日（火）暮らしの安心センターのラウンジにおいて初めての試みで「議会カフェ」を開催しました。

平日の13時から16時までおこない、町民の方16名の皆様と世間話をしながら身体と健康について、また町政や議会についてなどお茶を飲みながら和気あいあいと気軽におしゃべりしました。

今後も町民の皆様と気楽にお話しできる「議会カフェ」を定期的開催予定です。

是非たくさんの方にご参加いただいて、またお話を聞かせてください。



ウェルカムボードも作りました



お茶を飲みながら懇談中

常任委員会の活動

総務民教建設常任委員会

総務民教建設常任委員会は、平和の文化をどう引き継いでいくかを課題として調査活動に取り組んでいます。その一環として養護老人ホーム「和風園」で戦争体験の聞き取りをおこないました。

参加された利用者の方はほとんどが90代でしたが、皆さん大変お元気でした。中には大変壮絶な体験をされた方もいて、聴く方も身が引き締まる思いでした。

聞き取り内容の一部を紹介します。

中学生の時は援農ばかりで授業はなかった。赤紙が来て出征する人を地域全員で旗がちぎれるくらい振って見送った。あの頃の教育は間違っていたと思う。

学校まで1里、身体を鍛えるため自転車に乗らずに歩いた。兄が兵隊に行くとき地域の人に千人針を頼んだ。供出した馬が泣いていた。かわいそうだった。



熱のこもった話しに聞き入る議員たち

産業福祉常任委員会

10月9日に所管の調査として「農業関係人口を維持する政策ビジョンについて」の一環で農福連携の先進事例を視察しました。

農業の人手不足が深刻化する中で農業者と福祉事業所が連携し、農業経営の発展とともに障がい者の自信や生きがいを創出し社会参画を実現する取り組みが行われています。

沼田町でこれからどのような活動が進められるかを参考に、岩見沢市栗沢町の花卉生産現場で真剣に作業を進める皆さんの様子を見せていただき空知総合振興局産業振興部農務課との意見交換を行いました。



選花場にて



空知総合振興局との意見交換

未来の主権者とつながる

中学生議会をおこないました

10月30日、町議会議場において沼田中学校の生徒による中学生議会を開催しました。生徒たちは3グループに分かれて質問を練り上げてきて、この日は各グループから代表2名が横山町長に質問と提案をしました。

議長席には平泉彩羽（ひらいずみ いろは）さんが座り、議事の進行をおこないました。

いまの石狩沼田駅舎はそのまま残し、線路はレールマウンテンバイクに活用してほしい。
SNSで沼田町の魅力を発信してほしい。

質問：施設の充実さ②

井上礼唯（いのうえ れい）
長井 結（ながい ゆい）
中澤杏音（なかざわ あのん）
吉本流花（よしもと るか）

質問：施設の充実さ①

多田心咲（ただ みさき）
齋藤留可（さいとう るか）
中村 浩（なかむら ひろ）
横山晴哉（よこやま はるや）

廃線跡で列車を宿泊施設として活用してはどうか。
ビール工場の建設に合わせて、沼田町特産のおつまみ開発や、飲食スペース設置を。



参加していただいた中学生議員の皆さん

誘致した会社や工場への支援を手厚くしてほしい。
沼田町の良さを知ってもらうためのSNS発信を増やしてほしい。

質問：人口問題

青木悠人（あおき ゆうと）
川嶋一歌（かわしま いちか）
川嶋惺南（かわしま せな）
横山皓士（よこやま こうし）

中学生議会はいつも緊張します。
いただいた質問と提案は真摯に検討いたします。



あいさつをする横山町長

決算特別委員会

令和5年度予算の執行状況と、事業の実施内容について審査をする決算特別委員会を、17、18、22日の3日間で開催し、報告された決算内容を審査の結果全会一致で承認しました。



畑地 誉 委員長
大沼恒夫 副委員長



各課へのおもな質疑

総務財政課



ほたる館の運営は町の負担を減らすために指定管理をしていると思うが、事業を継続するために数億円かかるという状況をどう考えるか。

答 町民にとってなくてはならない施設なので第一一貫管理に管理をしてもらっています。5年間は指定管理料は変わりませんが、黒字経営になれば燃料代などは見直します。

住民生活課



地域おこし協力隊に寄り添ってサポートすることが大切。卒業後に起業するまでを事業化することが不足しているのでは。

答 希望する方がフォローを受ける相談窓口がありますが、経費は隊員に対する予算から支出されるのでフォローにお金をかけるとその分隊員の活動費が減ってしまいます。隊員がどんなフォローを求めているか各課と共有しています。

産業創出課



あるくらす団地の入居者への家族の見守りとして電力センサーがあるが、利用状況と今後の普及は。

答 5軒すべてで使用しており、遠隔地の家族も状況が確認できています。成果が出ており、今後普及させたいと考えます。

教育委員会



ポートハーディに行けなかった中学生が高校生で行くことができた。小矢部市も同じ時期に重なるので引き続き高校生もポートハーディへの参加ができないか。

答 中学生のうちに両方は確かに大変です。高校生の方が英語力もあり、検討します。

保健福祉課



保育園は無償化されているが在宅はお金がかかる。在宅児にも支援が必要では。

答 一時預かりで対応できる場合があります。在宅児も支援できるよう住民生活課と協議します。

農業推進課



特産品の販路は拡大しているのか。情報発信は販路拡大に影響したのか。

答 コロナでアンテナショップをやめ情報発信の強化に切り替えたところ販路拡大に貢献した。

令和5年度決算を全会一致で承認

○令和5年度の沼田町一般会計決算額

歳入総額 58億3882万円

歳出総額 57億622万円

収支差額 1億3259万円

黒字決算!

○一般会計基金残高

34億3188万円



答弁をする横山町長

町長・教育長への総括質疑

問 加工用トマト生産日本一を目指すために



鵜野範之
議員

沼田町の第6次総合計画が残り2年となる中で、加工用トマトの生産日本一実現には農家の理解と協力が必要であり、加工場の処理能力にも限界があるのでは。



伊藤 淳
議員

意欲のある農家とともに進めるためには、研究予算をしっかりと確保し、収支のシミュレーションを示して農家の参加を促す必要があるのでは。

答 農家の皆さんの力を借りながら取り組む



横山 茂
町 長

昨年から機械化収穫の可能性を探っており、工場の処理能力を上げることも検討中です。

トマトに新たな作物も組み込んで、若い人たちが従事できるような新しい生産環境を作ることも考えます。

農家の皆さんの協力を得ながらトマト栽培が拡大していくよう取り組みます。

問 化石体験館の将来ビジョンは



篠原 暁
議員

コロナ禍は収束したが化石体験館の利用にブレーキがかかっている。館内での体験を復活し、温泉やキャンプ場にも好循環を生み出すビジョンが必要では。

答 地域の歴史に親しむ普及活動を目指す



三浦 剛
教 育 長

体験活動は縮小しましたが、海中をイメージするBGMやナイトミュージアムの取り組みで魅力アップを図っています。今後も専門家と連携し事業を推進します。

決算への意見

- ・地域おこし協力隊の活動や成果を町民にもっと身近に感じてもらい、起業や定住につながることを期待する。
- ・そらち自然学校と沼田町との関係を明確にした事業推進を。
- ・令和5年度は沼田町第6次総合計画後期基本計画が始まった年であり、計画との整合性のある事業推進を。

みんなの広場

スポーツを通じて町民の健康づくりに取り組んでいる一般社団法人N-link.（エヌリンク）の森田弘美さんに、これまでの経過や現在の活動状況について聞きました。

質問1 現在に至るまでの背景は？

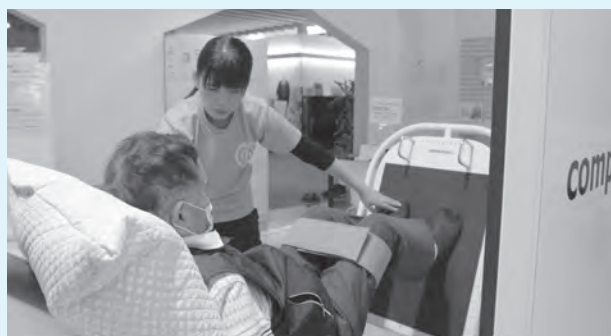
平成23年より「総合型地域スポーツクラブ」として行政主導として立ち上がり、平成26年に民営化して平成28年4月から現在の一般社団法人N-link.として活動しています。

質問2 今の活動内容を教えてください

子どもや高齢者を含む幅広い世代の方へスポーツや文化事業等に触れる機会を提供し、介護予防・健康増進を目的として活動しているクラブです。

質問3 N-link. のメンバー数は？

役員は7名で女性スタッフを中心に活動しています。



安心センターで体力維持サポート



質問4 受託事業にはどのようなものがありますか？

元気はつらつ教室、まるごと元気運動教室、脳トレ教室、高齢者元気100倍教室、こども園運動教室、小学校体力向上運動指導、らくらく運動教室、元気もりもり教室などです。

質問5 活動場所は？

ほたる館、各活性化センター、和風園、小学校、暮らしの安心センターや、町外でも活動しています。

質問6 やりがいを感じる時はどんなとき？

参加される方が笑顔で「楽しかった！また来るね」といった反応が何よりうれしいです。

質問7 今後の抱負や将来像を聞かせてください

クラブの活動は動作や運動の結果が目的ではありません。新しい刺激が脳を活性化させます。年のせいでとかあきらめるのではなく、やるのが楽しいと思っていただきたいです。

人との関りを持ち、参加する人たちすべてが健康で笑顔になれるような活動を継続していきたいです。

あとがき

昨年ほどでなかったとは言え、確実に以前より夏は暑くなっている気がします。

その昨年の猛暑で米の収穫が減っていたところに、観光需要増もあって一気に米不足が加速しました。しかし原因はそれだけとは言えないようです。

米の需要が減っているからと生産を抑えていたことも関係していたようです。新米の流通で一旦米不足は収まりましたが、消費者には依然として高値が続いています。米の生産を維持しつつ農家の収入補償も必要ではないでしょうか。

とはいえ、まずは農家の皆さんの努力に感謝しつつ今年も美味しい新米を味わおうと思います。

広報特別委員

篠原 暁 三浦 実希
畑地 誉 伊藤 淳